

潟上の医療法人

医学部生に学費全額貸与

潟上市で総合病院などを運営する医療法人「正和会」グループ（小玉敏夫理事長）は、秋田県出身の私大医学部生を対象に、大学六一年間に掛かる入学金・授業料などすべての修学資金を無利子で貸与する制度を創設した。医師不足に悩む病院が育成から関与して医師を囲い込むのが狙い。県医師確保対策推進室によると、私学生に限った民間の制度は全国でも珍しいという。

大学卒業後に五年間研の県内の高校生も含ま修医として県内の医療機れる。

関で働いた後、「正和会」試算では、貸与額は一の施設に勤務することが人当たり最高で計約五千条件。選考対象には、万円になる。最長二十年私大医学部に進学予定で返還、同会の病院など

- 県出身の私大生対象
- 運営施設で勤務前提

に十五年間勤務した場合には五百万円以上の返還が免除される。

詳細は今後詰めるが、選考では能力のほか、地域医療に対する熱意などを重視する。資金を受ける学生は毎年一人程度を予定。定期的に面談し、助言を与え続けるという。

正和会グループは、潟上市昭和久保地区で、内科や循環器科などからなる総合病院と介護施設などを運営し、秋田市な

医師確保へ独自策

どでも病院や福祉施設を手掛ける。

各自治体にも修学金や奨学金を貸与する制度があるが、貸与額は必ずしも多くはない。私大医学部は入学金や授業料が高額なため、学生や保護者の負担が大きい。

県医師会常任理事でもある同会の小玉弘之専務理事は「国立大生に比べて、大きな負担を抱える私大生の力になれればいい」とした上で、「当方の施設で働くまで、大学入学から十年以上かかる。その間に学生の考えが変わることもあり得るが、相談に応じたい」と説明する。